
平成30年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成30年3月12日

質問者（質問順）

- 1 伏見幸枝委員（自民党）
- 2 黒川勝委員（自民党）
- 3 伊藤純一委員（民進党）
- 4 竹野内猛委員（公明党）
- 5 白井正子委員（共産党）

建築局

局 別 審 査

1 伏見 幸枝委員（自民党）

1 建築局 30 年度予算について

(1) 平成 30 年度の建築局予算編成の考え方について伺いたい。

2 木造住宅の耐震化促進策について

(1) 平成 29 年度の補助実績について伺いたい。

(2) 防災・減災の取組に熱心な地域の力を借りながら、耐震化に向けた意識啓発を効果的に実施していくべきと考えるが見解を伺いたい。

(3) 30 年度予算と今後の木造耐震への取組について伺いたい。

(要望) 市民がより使いやすい補助制度となるように研究しながら、周知啓発にも力を入れ、災害に強いまちづくりを実現することを要望する。

3 市営住宅の共益費について

(1) 共益費の未払いに関する自治会等からの相談への対応について伺いたい。

(要望) 市営住宅の居住者が、安心して生活を送れるように指定管理者とも連携して、相談体制をしっかりとることを要望する。

4 用途地域等の見直し検討について

(1) 内陸部の工業集積地域における土地利用上の課題認識について伺いたい。

(2) 都市農地における土地利用上の課題認識について伺いたい。

(要望) 幹線道路の沿道における土地利用誘導や都心部における賑わいの創出など地域によって様々であり、一つ一つを丁寧に調査、分析して、解決に向けた取組を進めることを要望する。

(3) 用途地域に関連する地域地区等も含めて見直しを進めるべきと考えるが見解について伺いたい。

(要望) 横浜の都市のあり方を方向付ける大変重要なものであることから、将来像

をしっかりと見据えて見直しを進めることを要望する。

5 郊外部の活性化について

- (1) 横浜駅が住みたい街・駅ランキングで1位になった所感について伺いたい。
 - (2) たまプラーザでの5年間の取組の評価について伺いたい。
 - (3) 事業パートナーである東急電鉄と連絡を密にして、スピード感を持った事業展開が必要と考えるが見解を伺いたい。
 - (4) マンション・団地再生コーディネーター支援の内容について伺いたい。
 - (5) 団地再生にあたってコーディネーターの担っている役割について伺いたい。
 - (6) コーディネーター支援には理事会のサポート業務が必要と考えるが、見解を伺いたい。
 - (7) すずき野団地再生に他局と連携した取組も必要と考えるが見解を伺いたい。
 - (8) 郊外部の駅周辺にサテライトオフィスなどを設置するなどの企業誘致を進める上での課題について伺いたい。
 - (9) 駅前の機能集積の実現に向けて、用途地域の変更も含めて検討すべきと考えるが見解を伺いたい。
 - (10) 戦略的な土地利用誘導の展開として、市街化調整区域も積極的に活用すべきと考えるが見解を伺いたい。
 - (11) 郊外部の魅力を高め、選ばれるまちとするために市をあげて進めるべきと考えるが見解を伺いたい。
- (意見) 横浜市の郊外部が住みたい街として、ランキングが上がることを期待する。

6 建設関連産業活性化事業について

- (1) 専門家派遣事業の29年度実施状況とその所感について伺いたい。
 - (2) 29年度横浜市建設関連就職フェアの実績について伺いたい。
 - (3) 30年度の取組と意気込みについて伺いたい。
- (意見) 担い手不足の解消を目指している活性化支援事業が今後も推進されることで、市内建設企業の方々が、笑顔になることを期待する。

7 新市庁舎の整備について

(1) 災害時にも市庁舎機能を発揮できる工夫について伺いたい。

(2) 現在の工事の進捗状況について伺いたい。

(3) 30年度発注する工事の内容について伺いたい。

(4) 本体工事以外の工事の市内企業への発注について伺いたい。

(要望) 適切な工程管理を行い、全庁一丸となってこの新市庁舎プロジェクトが成功するようしっかりと取り組むことを要望する。

1 持続可能な住宅地推進プロジェクトについて

- (1) これまでの持続可能な住宅地推進プロジェクトの取組成果について伺いたい。
- (2) 南万騎が原周辺での住み替えモデルの取組内容について伺いたい。
- (3) これまでの取組の成功事例を参考に全市的に展開し、より一層郊外部の再生を進めていくべきと考えるが見解を伺いたい。
- (4) 郊外部のまちづくりを区局横断的に取り組むべきと考えるが見解を伺いたい。

2 団地再生の取組について

- (1) 人口動態からみた金沢シーサイドタウンの課題について伺いたい。
- (2) 金沢シーサイドタウンの多世代居住に関する現状の取組について伺いたい。
- (3) よこはま団地再生コンソーシアムの目的について伺いたい。
- (4) 多世代居住のまちづくりを様々な視点のもとにコンソーシアムも活用しながら進めるべきと考えるが見解について伺いたい。
- (5) 大規模団地で多世帯居住を進めていくうえでの意気込みについて伺いたい。
(要望) 大局的な視野で大規模団地の再生に取り組むことを要望する。

3 老朽マンション建替支援について

- (1) 旧耐震基準の老朽化した分譲マンション戸数について伺いたい。
- (2) 管理組合の耐震補強や建替の検討方法について伺いたい。
- (3) 管理組合の耐震補強や建替検討上の課題について伺いたい。
- (4) 市の合意形成支援内容について伺いたい。
- (5) 市のマンション建替促進事業の進め方について伺いたい。
(要望) 難しい課題を抱えた老朽マンションには、合意形成から建設が終わるまで、行政の切れ目のない支援を要望する。

4 戦略的な土地利用誘導の展開について

- (1) 地域ごとの将来像を踏まえて用途地域の見直しを進めるべきと考えるが見解について伺いたい。
 - (2) 開発調整会議を活用した具体的な調整方法について伺いたい。
 - (3) 開発調整会議要綱の改正内容について伺いたい。
 - (4) 将来像の実現や課題解決に向けた総合的な土地利用コントロールの考え方について見解を伺いたい。
- (意見) 関係区局がしっかり連携し、人口減少を食い止め、持続可能で魅力あるまちづくりが進むことを期待する。

5 建築局未来プロジェクトについて

- (1) これまでのテーマの分野と傾向について伺いたい。
 - (2) 局未来プロジェクトの具体的な検討の進め方について伺いたい。
 - (3) 局未来プロジェクトの意見交換会には公開もあるのか伺いたい。
 - (4) 「将来を見据えた土地利用コントロール」の検討の進め方について伺いたい。
- (意見) 現在と将来の課題の両方を粘り強く解決できる人材の育成につながるよう、また幅広く未来を見据えた議論と、所管課での具体的な施策検討との連動で、将来に誇れる横浜のまちづくりを建築局が主導して推進していくことを期待する。

3 伊藤 純一 委員（民進党）

1 耐震対策等の推進について

(1) 沿道建築物の耐震診断結果及び耐震性が確保されている区間の割合について伺いたい。

(2) 現時点で震災が発生した場合における緊急輸送路の通行への影響について伺いたい。

(要望) 道路の閉塞リスクについて、できる限り減らしていく取組が震災発生時の被害抑制に直結するので、さらに積極的に取り組んでいくことを要望する。

(3) 耐震トータルサポート事業の30年度予算及び支援の計画について伺いたい。

(4) 沿道建築物の耐震化促進に向けた意気込みについて伺いたい。

(意見) 建築物の耐震化は短期間で終わるものではなく、長期的視点でサポートしていくことが必要である。予算を有効活用し、しっかりと取り組み、着実に成果を上げることを期待する。

2 崖地の防災対策の強化について

(1) イエローゾーンの指定要件と市域における区域数について伺いたい。

(2) レッドゾーンの指定要件とスケジュールについて伺いたい。

(3) レッドゾーンの指定に伴う規制内容について伺いたい。

(4) レッドゾーンの指定に対応する今後の取組について伺いたい。

(意見) 県との緊密な連携の下、ソフトとハードの両面から崖地対策に取り組み、災害に強いまちづくりを推進することを期待する。

3 大規模団地等の再生の推進について

(1) 南永田団地における、これまでの住民のまちづくりの取組について伺いたい。

(2) 南永田団地の団地再生における、建築局のこれまでの支援内容について伺いたい。

(3) 南永田団地における、団地再生の今後の取組について伺いたい。

(要望) 郊外部の団地再生は大変重要であるので、今後もしっかりとすすめること

を要望する。

4 住まいのセーフティネットの推進について

- (1) 登録住宅を確保するための具体的な取組について伺いたい。
- (2) 経済的支援の開始時期及び方法について伺いたい。
- (3) 居住支援協議会の立ち上げ時期と今後の取組について伺いたい。

(要望) 民間賃貸住宅ストックを有効に活用することにより、建築局がリードして、市内の関係局、不動産関係団体や福祉団体等と一丸となって、居住の安定に取り組むよう要望する。

5 総合的な空家対策の推進について

- (1) 管理不全な空家に対する周辺住民からの相談件数と相談内容について伺いたい。
 - (2) 周辺住民からの相談に対する具体的な対応方法について伺いたい。
 - (3) 所有者が所在不明や不存在な空家に対する、財産管理人制度活用の検討状況について伺いたい。
 - (4) 管理不全空家に対する今後の取組について伺いたい。
- (意見) 取組を一層充実させることで、管理不全空家の解消が進むことを期待する。

6 公共建築物の木材利用の推進について

- (1) 公共建築物における木造・木質化の実績について伺いたい。
- (2) 木材利用に関する現状認識と課題について伺いたい。
- (3) 今後の取組と方向性について伺いたい。

(要望) 子どもアドベンチャーや小学校における環境教育出前講座は、子供達が、木に触れ、木の良さを感じることの出来る取組だと思っているので、引き続き実施するよう要望する。

7 用途地域等の見直しの検討について

(1) 他の政令市における用途地域の見直しの状況について伺いたい。

(2) 30年度の検討内容について伺いたい。

(3) 用途地域等の見直しの進め方について伺いたい。

(要望) 用途地域の見直し作業は、地域の特性に応じた様々な課題に対応するため、地域の意見に対しても、丁寧に耳を傾けることを要望する。

4 竹野内 猛 委員（公明党）

1 市営住宅の管理について

- (1) 市営住宅の応募件数や応募倍率の推移について伺いたい。
 - (2) 市営住宅に空き室状態が生じる主な理由について伺いたい。
 - (3) 住替えを希望している世帯数と住替えまでに要する期間について伺いたい。
 - (4) 市営住宅の住替えが進まない理由について伺いたい。
- (要望) 住替えを促進させるために制度の改善など、行政としての一層の努力を重ねることを要望する。

2 市営住宅の再生について

- (1) 建替等における仮移転の考え方について伺いたい。
 - (2) 建替等におけるバリアフリー化やIT技術活用の考え方について伺いたい。
 - (3) 将来的な管理を踏まえた住宅整備の考え方について伺いたい。
 - (4) 市営住宅再生を具体的に、迅速に進めるべきと考えるが見解を伺いたい。
- (要望) 住宅セーフティネットの根幹としての、また地域のまちづくりの核としての市営住宅の再生を、着実に前進させることを要望する。

3 空家対策の推進について

- (1) 空家化の予防に向けた取組の内容について伺いたい。
 - (2) 空家無料相談会の開催状況と効果について伺いたい。
 - (3) 地域ケアプラザと連携した取組について伺いたい。
 - (4) 空家化の予防に向けた今後の取組方針について伺いたい。
- (要望) 例えば、空家予備軍の早期の掌握という意味で、上大岡に設置されている「高齢者施設・住まいの相談センター」などとの連携も検討することを要望する。

4 住宅の省エネルギー化の推進について

(1) 建築局が住宅の省エネ化に取り組む意義について伺いたい。

(2) 住宅の省エネ化の推進における課題について伺いたい。

(3) 30年度の取組について伺いたい。

(意見) 一層の積極的な取組を進め、環境未来都市である本市が住まいの省エネの面でも、全国をけん引していくことを期待する。

5 緊急交通路等の沿道建築物の耐震化と通行機能確保について

(1) アクセス路の沿道建築物の対象棟数とこれまでの診断状況について伺いたい。

(2) 戸別訪問をする中で見えてきた耐震化への取組の課題について伺いたい。

(3) 30年度の取組と予算について伺いたい。

(4) 緊急交通路等の通行機能を確保するためには、沿道建築物の耐震化、道路面下の空洞化対策や無電柱化など総合的に取組を推進すべきと考えるが見解を伺いたい。

(要望) アクセス路も含めた緊急交通路の通行機能の確保に、着実に取り組むことを要望する。

6 崖地の防災対策について

(1) 崖地カルテを活用した取組について伺いたい。

(2) 崖地に関する相談への対応方法とアドバイスの内容について伺いたい。

(3) 相談体制の充実に向けた取組について伺いたい。

(要望) 土砂災害への対応は、崖地の所有者だけの問題ではなく、周辺にお住まいの方々の理解や協力も得ながら進め、市民の安全・安心な生活を守るためにも、総合的な崖地の防災対策を持続的に進めることを要望する。

1 高齢者向けの住まい・施設について

- (1) 市営住宅の次期4月募集における単身高齢者の募集枠拡大の具体策とこれまでの応募者、当選者の背景について伺いたい。
(要望) 単身高齢者の募集枠拡大を、しおりにわかりやすく記述することを要望する。
- (2) 「第3期 横浜市高齢者居住安定確保計画(案)」の高齢者向け賃貸住宅及び老人ホーム等の供給目標の概要について伺いたい。
- (3) 第3期計画における特別養護老人ホームと養護老人ホームの位置付けについて伺いたい。
- (4) 高齢者向け住宅8項目のそれぞれの供給目標について伺いたい。
- (5) 市営住宅で割合が増えるのは戸数が増加なのか伺いたい。
- (6) 民間供給となる高齢者向け住宅3項目のうち、予算付け項目について伺いたい。
- (7) 「新たな住宅セーフティネット制度」を活用した住宅登録事業の29年度の計画と実績、30年度の計画と予算措置戸数について伺いたい。
- (8) 予算措置達成するための取組について伺いたい。
- (9) 市営住宅抽選落選者の市営住宅家賃相当民間物件への入居可能性について伺いたい。
- (10) 高齢者向け優良賃貸住宅は、補助があっても市営住宅より家賃が高い。このような民間に依拠している計画では、確実性に欠けていると考えるが見解を伺いたい。
- (11) 民間賃貸住宅を活用するのは確実性に欠けている。市営住宅を増やすべきと考えるが見解について伺いたい。
- (12) 札幌火災の現状から考えると、低所得単身高齢者の住まいの受け皿づくりは行政の責任。第3期計画の目標で市営住宅を増やさないのは、この視点が欠落していると考えが見解を伺いたい。
- (13) 第3期計画は、1章の計画の目的と位置づけで「住宅政策と福祉施策が一体

- となって、高齢者の居住の安定確保に向けた施策に取り組む必要がある。」としている。建築局と健康福祉局とが連携すべきで、生活支援機能を付加した市営住宅での受入れが必要であるから戸数を増やすべきと考えるが見解を伺いたい。
- (14) 住宅セーフティネット政策の根幹となる市営住宅を増やすべきと考えるが見解を伺いたい。
- (15) 単身高齢者が安心して生活できる住まい確保のため、国に公営住宅戸数を増やすよう求めるべきと考えるが見解を伺いたい。
- (16) 市営住宅の戸数について、民間空家対策論によって抑制するのは恣意的であると考えているが見解を伺いたい。
- (17) 国の方針や住生活基本計画に固執せず、市営住宅建設へ転換すべきと考えるが見解を伺いたい。
- (要望) 市営住宅を増やすことを要望する。また、国へも公営住宅を増やすことを求めることを要望する。